危険予測トレーニング（KYT）──危険感受性を育てる　第39回 バス停の近くで（子ども編）

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は子どもに、飛び出しの危険について考えてもらうためのKYTです。

あなたは遊びに行く途中、バス停で友だちと、そのお母さんがちょうど、バスから降りてきたことに気づきました。あなたは声をかけて、二人のところに向かおうとしています。

このような時、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。

Ⓒ本田技研工業（株）

活用方法

❶少人数のグループをつくります。
❷「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
❸その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト（カラー・A4版）」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード（無料）できます。

ホンダ　SJ　検索

【使用上の注意】
●営利目的での利用はおやめください。
●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業（株）安全運転普及本部
TEL：03（5412）1736
E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

指導者ファイル 20

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。

静岡県交通安全協会富士地区支部の交通安全指導員の皆さん
（後列左から）小澤雪江さん、秋山恵理さん、菊池絵美子さん、髙橋佑奈さん、千野文香さん
（前列左から）三浦徳子さん、勝又美和子さん、望月千恵さん、後藤英里子さん、梅田礼子さん、藤原知世さん

体験を重視した指導を実践

静岡県交通安全協会は、県内を30の地区に分けて交通安全教育を展開している。その1つが富士地区支部である。県東部に位置する富士市を12名の交通安全指導員が担当し、平成25年は幼児、小・中学生、高校生、高齢者を中心に406回の交通安全教室を開催した。

同支部では、子どもに対して体験を通じた教育を重視している。例えば、幼稚園･保育園では園庭などで歩行訓練を実施。さらに、約半数の幼稚園・保育園で年長クラスを対象に園外を歩きながら指導を行っている。リーダーである係長交通安全指導員の小澤雪江さんは「本当のクルマや電車を見せながら指導することで、『止まる』という行為の必要性を子どもたちに理解してもらうことができます」と話す。また、今年4月からは、Hondaの高校生交通安全教育の実技による自転車教育のノウハウを中学校や高校の交通安全教室で活用している。

今、静岡県交通安全協会が力を入れているのは反射材の普及である。「自発光式反射材を身につけていただくことで、自身の存在を周囲に知らせることになり、安全であることを、高齢者を中心に啓発しています」と小澤さんはいう。

★幼稚園・保育園での歩行訓練

富士市にある須津幼稚園での歩行訓練。歩行者用信号が青でもクルマが来る場合があるため、左右だけでなく後方も確認することを伝える

年長クラスの幼児は先生や指導員と周辺の道路を歩く。同園の近くには遮断機のない踏切があるため、渡る前に必ず止まって自分の目と耳で電車が来ていないことを確かめるように指導する

★高校での自転車教育

静岡県立吉原高等学校での交通安全教室。Hondaの高校生交通安全教育のプログラムの1つ、8の字走行を通じて、思いやりや譲り合いの大切さを生徒に考えてもらった

★信号の色の意味や反射材の効果を理解してもらうための手づくり教材

黄色の丸がひよこ、赤の丸がタコに変形する。幼児に信号機の色を印象づけるためのもの

箱の小窓から中をのぞくと暗くて何も見えないが、ペンライトなどを当てると反射材が光ってよく目立つように見える

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介
http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/

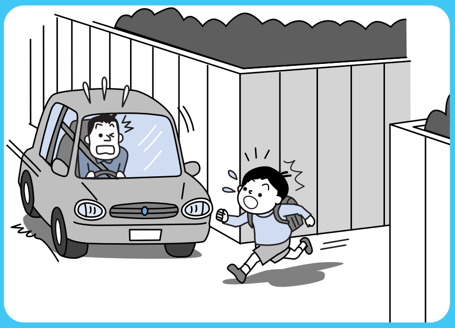
SJクイズ ?

Q1　平成25年の子ども（15歳以下）の交通事故負傷者数は5万5604人と前年に比べ5.9％減少しましたが、子どもの死者数は前年に比べ、どのような状況でしょうか？

①約2％増加　②約1％増加
③約1％減少　④約2％減少

Q2　平成25年の交通事故死傷者数を年齢層別・状態別にみると、子どもの歩行中の割合は何歳がピークとなっているでしょう？

①5歳　②7歳
③9歳　④11歳



Q3　過去5年間（平成21～25年）の小学1･2年生の歩行中死傷者数を月別にみると、最も多いのは何月でしょう？

①4月　②5月
③6月　④7月

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/

Ⓒ本田技研工業（株）